

業 務 報 告 書

～平成22年度実績～



平成23年9月

島根県浜田保健所

(表紙裏)

沿 革

浜田保健所の沿革

- 昭和19年12月：浜田市大字黒川1401番地に木造二階建（延506.6㎡）の本庁舎が開設された。（管轄：浜田市・那賀郡（人口116,901人）、職員14名）
- 昭和22年：保健所法改正に伴う保健所機構の整備により職員が6名増員となる。
- 昭和23年 4月：細菌検査浜田支所を統合。
- 昭和24年12月：島根県立川下病院を統合。
- 昭和26年 4月：A級保健所となり、8月には庁舎を増築（213.7㎡）、翌年2月には、総務課、保健予防課、衛生課、普及課の4課17係が設けられた。
- 昭和36年 8月：機構改革により、総務課、保健予防課、衛生課の3課6係となる。
- 昭和41年 3月：浜田合同庁舎が竣工。1階、2階が保健所となる。
- 昭和53年 4月：機構改革により、II型保健所となり、総務課、保健予防課、環境衛生課、検査室の3課1室5係となる。
- 昭和58年 8月：浜田合同庁舎隣接地で建設を進めていた新庁舎が竣工した。

浜田健康福祉センターの発足

- 平成 6年 4月：住民に対して保健・医療・福祉の一体的サービスを図る観点から、那賀福祉事務所と浜田保健所が統合して、浜田健康福祉センターが発足した。
- 平成 8年 6月：島根県大気環境中央監視局が設置され、運用を開始した。
- 平成10年 4月：地域保健法の施行及び介護保険法の導入を視野に入れ、総務企画部、保健福祉部、環境衛生部の3部体制となる。
- 平成11年 4月：保健福祉部の再編成により、保健福祉課に係制を導入して本格稼働となる。
- 平成16年 4月：フラット化、グループ化により、課が廃止され、グループ体制になる。

地方機関の再編

- 平成17年 4月：機構改革により、浜田健康福祉センターが廃止され、浜田保健所と西部福祉事務所に再編される。浜田保健所は、総務保健部と環境衛生部の2部7グループ体制となる。
- 平成18年 4月：機構改革により、2部、6グループ・1担当体制となる。

目 次

1 管内の概況	1
2 組織及び業務	2
総務担当	4
健康増進グループ	
1 健康長寿しまねの推進	5
2 成人保健対策	9
3 母子保健対策	13
4 歯科保健対策	19
5 栄養改善対策	23
6 地域保健体制の整備	24
7 精神保健対策の実施	25
医事・難病支援グループ	
1 医療対策	30
2 難病対策	31
3 結核対策	33
4 エイズ対策	34
5 原爆被爆者対策	35
6 緩和ケア	35
7 骨髄バンク	35
衛生指導グループ・食品衛生機動監視グループ	
1 薬事対策	36
2 薬物乱用防止対策	37
3 献血の推進	37
4 食品衛生対策	38
5 感染症対策	41
6 動物管理対策	42
7 環境衛生対策	43
環境保全グループ	
1 環境基本計画の推進	45
2 大気汚染防止対策	46
3 騒音・振動防止対策	47
4 オゾン層保護対策（フロン対策）	48
5 ダイオキシン類対策	48

6	水質保全対策	48
7	土壌汚染対策	51
8	一般廃棄物減量化・適正処理対策	51
9	産業廃棄物減量化・適正処理対策	51
10	ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物対策	53
11	自動車リサイクル対策	53
12	浄化槽適正管理の推進及び合併浄化槽の整備促進	53
13	公害苦情処理	54
14	建築物の衛生確保対策	54

検査グループ

1	臨床検査の実施	55
2	食品衛生関係検査の実施	55
3	環境衛生関係検査の実施	56

資料編

	浜田圏域の高齢化率と推計人口	58
	浜田圏域の人口動態	59

1 管内の概況

(1) 市町村合併

平成の大合併の進展に伴い、当管内でも浜田市と那賀郡の1市4町村、江津市と邑智郡桜江町の枠組みで合併に向けての協議が進められた。江津市と桜江町は、平成16年10月1日に合併を行い、新「江津市」面積268.51km²、人口27,821人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。また、浜田市と那賀郡4町村は平成17年10月1日に合併し、新「浜田市」面積689.44km²、人口63,128人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。

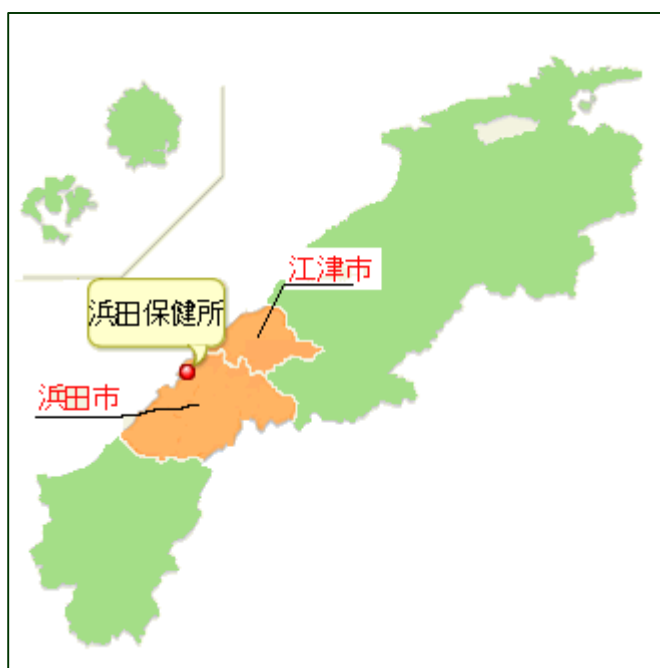
(2) 行政区域、地理的条件、交通事情

当所は、島根県西部に位置する浜田市に所在しており、平成20年度末の行政区域としては、浜田市、江津市の2市を管内としている。

管内の地理的条件は、日本海に面した海岸部を有するものの、山地が海岸線まで迫っており、総じて平野部は狭隘である。面積は957.95km²で、県全体の14.2%を占めているが、大部分が中山間地域に位置する林野となっている。

交通事情は、JR山陰線と国道9号線が海岸線に沿って東西に走り、また、在来の国道186号線が広島方面へ連絡している。さらに、平成3年に全線開通した中国横断自動車道が浜田市と広島市とを1時間半で結び、さらに平成15年には江津道路も開通し京阪神、九州方面との連絡時間も大幅に短縮された。

しかし、地域全体としてはバス路線が主要な公共交通機関であり、過疎地域で運行回数も少ないため、自家用車の使用に頼らざるを得ない状況である。



(3) 人口と高齢化の推移

管内の人口は、平成22年10月1日現在で85,248人（推計人口）で、県全体の11.9%を占めている。国勢調査に基づく管内の人口推移では、昭和30年をピークとしてその後の減少傾向は明らかで、平成7年以降、10万人を割り込んでいる。

また、稼働年齢層の県外転出と出生率の低下に伴って人口の高齢化が進んでおり、平成22年10月1日現在で管内の高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）は、31.7%、後期高齢者率（75歳以上の高齢者が人口に占める割合）は18.4%となっており、県平均のそれぞれ29.1%、16.7%を大きく上回っている。

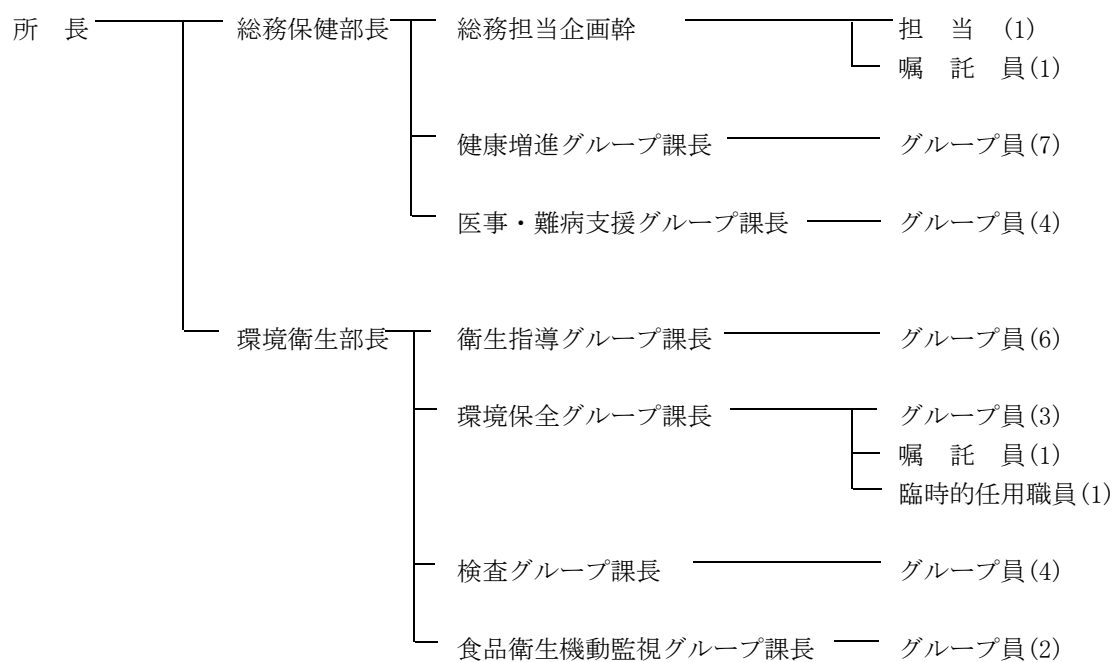
2 組織及び業務

(1) 職種別職員数

(平成23年3月31日現在)

	所長	総務保健部	環境衛生部	合計
行政職		5	10	15
事務		5	5	10
技術			5	5
医療職	1	11	9	21
医師	1	1		2
保健師		7		7
管理栄養士		1		1
診療放射線技師		1		1
歯科衛生士		1		1
臨床検査技師			3	3
獣医師			4	4
薬剤師			2	2
技能労務職			2	2
予防技術員			2	2
嘱託員		1	1	2
事務補助		1		1
廃棄物監視業務			1	1
臨時的任用職員			1	1
浄化槽法定検査指導啓発事業事務補助			1	1
合計	1	17	23	41

(2) 組織図



(3) 業務の概要

担当部・グループ名		業 務 内 容
総務保健部	総務担当	◇人事・服務 ◇庶務事務 ◇福利厚生 ◇統計調査(地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例、人口動態調査)
	健康増進グループ	◇健康長寿しまね推進事業 ◇精神保健福祉対策 ◇成人・老人保健対策 ◇健康づくり対策 ◇生活習慣病予防対策 ◇母子・乳幼児保健対策 ◇栄養改善対策 ◇歯科保健対策 ◇地域保健専門職員研修 ◇学生実習(保健師・栄養士)
	医事・難病支援グループ	◇医療提供体制の整備 ◇保健医療計画 ◇医師等医療従事者確保 ◇臓器移植等 ◇特定疾患対策 ◇感染症(結核)対策 ◇エイズ対策 ◇原爆被爆者対策 ◇難病患者支援対策 ◇ハンセン病対策 ◇緩和ケア対策 ◇医療安全相談
環境衛生部	衛生指導グループ	◇薬局等医薬品販売業の許可、指導 ◇毒物・劇物・麻薬・覚せい剤 ◇旅館・公衆浴場・理容所・美容所・クリーニング所等生活衛生関係の営業許可 ◇温泉 ◇献血 ◇感染症予防対策 ◇食中毒の防止対策 ◇食品衛生関係の営業許可、指導 ◇水道・飲料水 ◇狂犬病予防 ◇動物愛護
	環境保全グループ	◇環境保全の普及啓発等 ◇地域環境保全計画の企画推進 ◇大気汚染防止対策 ◇フロン対策 ◇ダイオキシン類対策 ◇土壌汚染対策 ◇浄化槽対策 ◇水質汚濁防止対策 ◇廃棄物の減量化・適正処理対策 ◇建物の衛生確保対策 ◇ネズミ・衛生害虫相談 ◇公害等苦情処理 ◇大気環境常時監視テレメータシステムの管理運営
	検査グループ	◇公害検査 ◇環境衛生検査 ◇食品等の試験検査 ◇食中毒・感染症検査 ◇臨床検査
	食品衛生機動監視グループ	◇食品関係施設の広域的監視・指導

《総務担当》

1 総務事務

職員の人事・給与・福利厚生事務及び会計事務を行う。

2 防災及び災害対策関係業務

所内における防災体制の確立や緊急連絡網の整備並びに通信訓練の実施。

3 安全衛生委員会の開催

職員の危険又は健康障害の防止及び健康の保持増進に関する事項を調査審議した。

開 催 日	開 催 場 所
平成22年9月15日	浜田合庁別館 第2会議室

4 保健福祉サービス調整推進事業

保健・医療・福祉等の関係者の連携を強化して、より充実した保健福祉体制の確立を図るため、保健福祉サービス調整推進会議を開催した。（実施は健康増進グループ）

開 催 日	開 催 場 所
平成22年12月20日	浜田保健所

5 情報化の推進

(1) 保健所職員研修

情報セキュリティ対策に関する研修を実施した。（1回）

(2) ホームページを活用した継続的な情報提供

6 統計調査

○衛生行政報告例（年度報・隔年報）

○地域保健・健康増進事業報告（年度報）

○人口動態調査（毎月）

7 学生実習、講師派遣

(1) 学生実習

○地域看護学実習（保健師）〔担当：健康増進G〕

…島根大学医学部（10名・5日）、島根県立大学短期大学部（4名・5日）

○行政体験実習〔担当：総務担当〕…島根県立大学（4名・1日）

(2) 講師派遣

浜田医療センター附属看護学校、浜田准看護学校、島根大学医学部、
島根県立大学短期大学部

《健康増進グループ》

1 健康長寿しまねの推進

島根県では国に先立ち、平成11年8月「健康増進計画」（健康長寿しまね）を策定し、健康長寿しまね推進会議を中心に県民運動として健康づくりに取り組んできた。この取り組みの一環として、浜田圏域においても平成12年度に浜田圏域健康長寿しまね推進会議を設置し「浜田圏域健康長寿しまね推進計画」（平成13年度策定）をもとに運動を展開してきた。

中間年となる平成17年度には、中間評価を行い圏域の課題を整理し、活動テーマを「脳卒中死亡率の減少」と「壮年期の自殺予防」として圏域計画の推進を図ってきた。平成19年度の「島根県健康増進計画」（健康長寿しまね）の見直しに伴い、平成20年度には「浜田圏域健康長寿しまね推進計画～目標値改訂版～」を作成し、具体的な目標について再度見直しを行ったとともに、平成22年度までの計画期間をスライドさせ、最終年度を平成24年度とした。

この間、「禁煙推進」「歯と食」「運動・健康づくり」「心の健康づくり」の4つの部会を中心に健康づくりに取り組むを進めてきたが、平成22年度からは「運動」と「心」を統合させ「運動・心の健康づくり」とし、3部会として健康づくり、生きがいつくり、要介護状態の予防を三本柱に「健康長寿しまね」県民運動をより一層推進している。

(1) 圏域健康長寿しまね推進会議事業の実施状況

平成22年度浜田圏域健康長寿しまね推進事業実績

区分	事業名	事業内容
① 圏域 会議 の 運 営	圏域健康長寿しまね推進会議の開催	1 圏域健康長寿しまね推進会議(構成団体数 32) (1)総会(年2回) ①6月24日 部会設置要領の改正、事業計画、県推進会議報告、健康長寿しまね評価のための調査等実施協力依頼等 ②12月8日 健康づくりグループ表彰及び健康づくり標語表彰式、各部会中間報告、表彰者の紹介及び関係団体間の活動交流 (2)部会 ・禁煙推進部会 (①6月24日 ②2月17日) ・歯と食の部会 (①6月24日 ②3月9日) ・運動・心の健康づくり部会 (①6月24日 ②2月28日) 2 健康づくりグループ表彰 圏域表彰:5グループ 対象:健康づくりに取り組んでいる地域または職場内のグループを表彰する。 表彰式:12月8日開催 ・圏域の「健康づくりグループ表彰」「7024よい歯のコンクール」及び県の「健康づくりグループ表彰」伝達表彰を併せて開催 ・活動交流の場として、各受賞者及び各受賞グループが日々の活動を発表 3 情報発信 浜田保健所ホームページでの健康情報等発信及びまめなたよりの発行
② 圏域 計 画 推 進 事 業	1. 禁煙推進部会	1 たばこに関する正しい知識の普及啓発 街頭啓発(禁煙週間) 6月3日ゆめタウン浜田にてチラシ・グッズ配布 庁内放送による啓発 5月31日浜田合同庁舎にて放送による啓発とポスター掲示及び職員へのチラシ配布 禁煙支援のための相談 5月31日浜田保健所にてマイクロスモーカーライザーによるCO ₂ 濃度測定及び相談 2 未成年者への喫煙防止対策の推進 小学校、高等学校における防煙・禁煙教室の実施 ・浜田市立美川小学校22名参加(10月15日) ・浜田市立雲雀丘小学校190名参加(11月5日) ・江津市立郷田小学校13名参加(3月1日) ・浜田高校定時制12名参加(11月19日)

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	1. 禁煙推進部会	<p>3 喫煙者の禁煙支援対策の推進 禁煙指導機関のホームページへの掲載 歯科医療機関へPRチラシ配布</p> <p>4 受動喫煙防止対策の推進 (1) たばこの煙のない飲食店の拡大 浜田市3店舗、江津市2店舗登録 計32店舗 (2) 公共施設の受動喫煙防止対策 浜田合同庁舎玄関前の灰皿撤去、職員への啓発の継続</p>
	2. 歯と食の部会	<p>1 元気はつらつ！歯ッピー食体験の開催(7月4日) 場所:浜田市弥栄町 弥栄会館 参加者:地域住民70名 【歯のコーナー】歯科健診、ブラッシング指導、顕微鏡による口腔内細菌のチェック等 【食のコーナー】歯によい料理の展示・試食、減塩みそ汁と米粉シフォンケーキの試食、バランスガイドコマ配布等 【健康長寿しまね推進会議事務局コーナー】簡易腹囲測定メジャー『腹囲くん』体験と手作りメジャーの配布等</p> <p>2 7024よい歯のコンクールの開催 ※歯科医師会浜田江津支部主催事業の共催 応募期間:9月1日～10月20日 応募者:22名 最優秀賞1名、優秀賞4名</p> <p>3 「わが家の一流シェフin島根」料理コンクール一次審査実施 圏域からの応募料理一次審査実施 審査会:10月18日(事前に部会員全員による書類審査実施) 応募者:中学生1名、高校生7名 圏域代表料理:ほうれん草とじゃがいものココット</p> <p>4 歯の衛生週間、むし歯予防デー及び食育月間の普及啓発 内容:6月3日 ゆめタウン浜田にて地域住民を対象に啓発チラシ及びグッズの配布</p> <p>5 健康づくり応援店の拡大 外食を利用する人の健康管理支援によるメニュー栄養成分表示と栄養情報提供 新規登録店舗数 4店舗 総店舗数50店舗(平成23年3月現在)</p> <p>6 「マゴタチワヤサシイ・いい歯で健康」の普及、啓発 リーフレットを食育月間キャンペーン、元気はつらつ!歯ッピー食体験や各市のイベント事業等を活用配布し、歯と食の健康づくりについて地域住民に対して普及啓発実施</p>
	3. 運動・心の健康づくり部会	<p>1 早おき、体そう、朝ごはん、はみがきチャレンジの実施 夏休みにおいて、小学校と保護者を対象に早起きをしてラジオ体操をし、朝ごはんを食べ、はみがきをするチャレンジ事業を実施 圏域参加者:188名(県合計:2,689人) <内訳>小学生:162名、親:14名、一般:4名、幼児等:8名</p> <p>2 職場の健康づくり講演会及び優良事業所表彰の開催 【主催】 浜田労働基準監督署、島根県産業保健推進センター、浜田地域地域産業保健センター、(社)島根労働基準協会浜田支部、浜田保健所 【共催】 全国健康保険協会島根支部 開催日:12月2日 場所:浜田合同庁舎大会議室 参加者:91人 ・講演「労働者の心の健康づくりについて」:労働基準監督署長 ・パネルディスカッション「事業所における健康づくりの取組について」 パネリスト:健康づくり優良事業所3事業所、産業医、浜田保健所長 ・事業所の健康づくり活動優良事業所表彰 会長賞:1 奨励賞:3 特別賞:2</p>

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	3. 運動・心の健康づくり部会	<p>3 浜田圏域まめなウォーカー活動との連携・支援</p> <p>(1) 連絡会総会を開催し、ウォーキングの普及を進める。 日時:7月6日 場所:浜田保健所3階多目的室 内容:昨年度活動報告、今年度活動計画協議、講演、ウォーキング</p> <p>(2) 健康づくりグループ等交流会(食生活改善推進員との交流会)</p> <p>第1回 日時:9月1日 場所:浜田市総合福祉センター 内容:高血圧についての勉強会、調理実習、まめなくん体操、意見交換 参加者:30名程度</p> <p>第2回 日時:10月28日 場所:浜田市総合福祉センター 内容:調理実習、まめなくん体操、意見交換 参加者:30名程度</p> <p>4 普及啓発活動</p> <p>(1) 浜田版介護予防体操「元気アップ!まめなくん体操」の普及及びリーダー育成研修会の開催 日時及び場所:11月24日 サンマリン浜田 内容及び参加者:講演及び実技指導 128名</p> <p>(2) 自殺予防対策に関する啓発「世界自殺予防デーキャンペーン」 日時及び場所:9月10日 JR西浜田駅、JR浜田駅、JR都野津駅、JR江津駅 内容及び参加者:啓発グッズの配布 52名</p> <p>(3) がん検診受診率向上のための啓発「街頭キャンペーン」 日時及び場所:10月19日 江津グリーンモール、ゆめタウン浜田 内容及び参加者:啓発グッズと検診日程表の配布、アンケート実施 35名</p>

(2) 県民対象の島根県健康栄養調査の実施結果

島根県では、保健医療水準の総合指標である平均寿命及び平均自立期間の延伸を目指した取組として、平成12年度から12年間計画で「健康づくり」「生きがい活動」「要介護状態の予防」を3本柱として「健康長寿しまねの推進」に取り組んできた。

この度、取組の最終評価を行うにあたり、平成16年度と同様の調査を実施し、県民の生活習慣・健康意識の現状と変化を比較することを目的に2つの調査を実施。

- ①調査対象人数 ・健康調査・・・浜田市、江津市の20歳代から70歳代の性・年齢階級別
 ・栄養調査・・・浜田市上府町32世帯

	1～10歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
男性	- (4)	7名(2)	13名(6)	15名(1)	20名(7)	23名(6)	24名(1)	- (1)		102名(28)
女性	- (5)	12名(1)	18名(4)	17名(4)	16名(8)	24名(5)	25名(5)	- (4)	1 (-)	113名(36)
合計	- (9)	19名(3)	21名(10)	32名(5)	36名(15)	47名(11)	49名(6)	- (5)	1 (-)	215名(64)

()は栄養調査人数

- ②調査時期 ・健康調査 11月
 ・栄養調査 10月下旬～12月

(3) 小・中・高校生対象の未成年者の喫煙状況調査の実施結果

島根県のたばこ対策は、平成20年3月に改訂した「島根県たばこ対策指針」に基づき展開しており、その柱の一つに「未成年者の喫煙防止」を掲げ、「最初の1本を吸わせない」ために、無煙環境と喫煙のきっかけをつくらない取組を進めている。

この度、平成17年度に実施した調査と比較しながら、未成年者を対象とした喫煙経験・喫煙意識等実態把握を行うとともに、子どもをとりまく大人達の意識を把握し、将来のしまねを担う子どもたちの喫煙防止等の方策に反映させることを目的に調査を実施。

- ①調査対象 ・県内小学生5, 6年生及びその保護者
 ・県内中学生2年生及びその保護者
 ・県内高校生2年生1クラス
- ②調査時期 8月下旬～9月末

2 成人保健対策

(1) 成人・高齢者の健康増進事業の実施

平成19年度まで、老人保健事業として実施してきた基本健康診査等について、平成20年度からは、特定健康診査及び特定保健指導として、医療保険者に実施が義務づけられた。また、75歳以上は後期高齢者医療広域連合の保健事業の一環としての健康診査として実施されている。

表1 がん検診の実施状況

(単位：人、%)

項目	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	胃がん	対象者	39,991	40,250	42,749	42,000
受診者		2,218	2,034	1,842	1,686	1,722
要精密		150	179	170	172	166
受診率		5.5	5.1	4.3	4.0	4.1
子宮がん	対象者	30,354	30,458	30,184	31,783	31,777
	受診者	1,756	1,844	1,842	2,258	2,802
	要精密	4	6	9	20	35
	受診率	5.8	6.1	6.1	7.1	8.8
乳がん	対象者	27,879	24,617	25,136	26,912	26,879
	受診者	1,326	1,415	1,558	2,448	2,245
	要精密	110	49	41	146	130
	受診率	4.8	5.7	6.2	9.1	8.4
肺がん	対象者	39,991	40,250	42,749	42,000	42,011
	受診者	3,786	3,739	2,783	3,956	3,508
	要精密	91	107	101	129	125
	受診率	9.5	9.3	6.5	9.4	8.4
大腸がん	対象者	39,991	40,250	42,749	42,000	42,011
	受診者	4,403	4,018	3,956	4,143	4,127
	要精密	253	161	278	284	226
	受診率	11.0	10.0	9.3	9.9	9.8

(2)生活習慣病予防対策事業の実施状況

表2-1 地域・職域連携推進事業の実施状況

事業名	実施内容
地域・職域連携健康づくり推進協議会事業	<p>①浜田圏域・地域職域連携推進協議会の開催(1回) 第1回 H23.3.10 参加:9団体、10名 がん検診、特定検診・特定保健指導の状況について 事業所の健康づくり活動基礎調査の実施について 他</p> <p>②職場の健康づくり講演会 H22年12月2日 参加者 91名(58事業所) 浜田労働基準監督署、島根県産業保健推進センター、浜田地域地域産業保健センター、島根労働基準協会浜田支部と共催、全国健康保険協会島根支部の後援 (内容) 健康づくり優良事業所表彰(6事業所) 講演:「労働者の心の健康づくりについて」(白名浜田労働基準監督署長) パネルディスカッション:「事業所における健康づくり活動の取組について」</p> <p>③江津市職域保健部会の参画(2回)</p>

表2-2 糖尿病対策事業の実施状況

名称	実施時期	参加者	内容
浜田圏域糖尿病対策検討会議専門部会	未実施		
浜田圏域糖尿病対策検討会議	未実施		
糖尿病対策関係者研修会	平成22年11月27日	<p><参加者内訳> 保健医療従事者、糖尿病友の会会員、地域住民 等 110名</p>	<p>講演「糖尿病にまつわる勘違いアレコレ」 講師:竹田晴生氏 (熊本県宇賀岳病院糖尿病センター)</p> <p>※日糖協全国糖尿病週間の行事として開催。圏域の研修会として関係者にも参加を呼び掛けた。</p>

(3) 地域リハビリテーションの推進

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して健やかな生活を送るために、リハビリテーション体制の充実と要介護状態になることの予防が重要である。

平成19年度から21年度までの3カ年の推進方策を記した「浜田圏域地域リハビリテーション推進行動計画」に基づき、身近なところで必要なリハビリテーションを総合的に提供できる体制整備を進めてきた。

平成22年度は、圏域内のリハビリテーション体制の現状と課題の具体的検証方法の検討や、介護予防体操「元気アップ！まめなくん体操」の普及、脳卒中地域連携クリティカルパスの運用・評価についての検討を進めてきた。

表3-1 地域リハビリテーション浜田圏域会議の開催状況

開催日時	内 容
平成23年3月22日	1. 浜田圏域地域リハ推進行動計画について 2. 各機関での実施事業について 3. 維持期リハ支援体制について 4. 今後の圏域会議のあり方について 参加者19名

表3-2 浜田版介護予防体操「元気アップ！まめなくん体操」推進部会の開催状況

開催日時	内 容
平成22年9月2日	1. 体操の普及実績 2. 体操の評価・普及に関する確認事項 3. リーダー育成研修会について 参加者10名
平成22年11月24日	「元気アップ！まめなくん体操」リーダー育成研修会 1. 講演「みんなの力で地域を元気に！～元気アップ！まめなくん体操の継続を目指して～」 2. 実技指導
平成23年1月20日	1. 第1回目の部会協議について報告 2. 各機関での事業の位置付けと役割及び次年度の方向性 3. 普及媒体の状況・取り扱い 4. 体操の評価の方向性 参加者12名
平成23年3月1日	1. 第1回・第2回目の部会協議について 2. 普及媒体の状況・取り扱い 3. 次年度の事業体制 4. 体操の評価について 参加者13名

表3-3 脳卒中地域連携クリティカルパス合同委員会の開催状況

開催回数	内 容
平成23年3月4日	1. 地域連携パスの運用状況 2. 浜田圏域脳卒中对策事業に関する報告 3. 意見交換

表3-4 浜田圏域地域リハビリテーション体制整備に関する検討会の開催状況

開催回数	内 容
平成23年3月22日	1. 浜田圏域地域リハビリテーション推進行動計画について 2. 各機関での実施状況 3. 維持期リハビリテーション支援体制について 4. 今後の圏域会議の在り方について 参加者13名

(4) 脳卒中等情報システム事業の実施

島根県脳卒中等情報システム及び、平成17年から開始している「脳卒中発症者状況調査」から得られたデータを把握・分析し、脳卒中発症予防、再発予防、重症化予防の取り組みを進めている。

平成20年度には、急性期から回復期のクリティカルパスを4病院を中心に検討・作成し、21年度に運用を開始した。

また、医療機関から提供された脳卒中発症連絡票等をもとに評価分析をし、管内両市の脳卒中对策への協力支援を進めている。

表4 脳卒中発症者状況調査（平成22年度）

(単位：人)

年齢	区分	脳出血	脳梗塞	くも膜下出血	病型不明	計
～39歳		1	2	1	0	4
40～64歳		8	28	1	0	37
65～74歳		2	36	1	0	39
75歳～		9	100	1	1	111
計		20	166	4	1	191

表5 脳卒中等情報システム調整会議等実施状況

◇ 浜田圏域脳卒中对策検討会

日時	実施内容・状況
平成22年6月8日	保健環境科学研究所との協議 ・ 浜田市脳卒中对策プロジェクトへの支援方法とデータの取り扱いについて検討
平成22年6月16日	浜田市との協議 ・ 平成21年度の脳卒中对策のまとめと今後の取り組み
平成22年7月28日	浜田医療センターへの事業説明・協力依頼
平成22年8月18日	① 浜田圏域脳卒中对策検討会 島根県脳卒中発症調査の報告 浜田市脳卒中発症者調査・分析事業 ② スタッフ検討会 調査票、評価方法についての検討

3 母子保健対策

母子保健対策は、母子保健法、児童福祉法を基本として次の世代を担うこどもたちを心身ともに健康に生み育てるために、思春期から一貫した対策を行っている。地域保健法の全面施行により平成9年度から住民に身近な保健サービスは市町村において実施し、県はより専門的広域的な課題に基づく母子保健事業を実施している。

表6 出生、妊娠届出の状況

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
妊娠届出数	692	567	611	673	613
満11週以内	499	417	474	568	548
満12～21週	110	110	123	84	55
満22～27週	3	4	3	1	6
満28週以上	5	5	2	2	1
不詳	75	31	9	18	3

(1) 母子保健推進体制の充実

母子保健の推進を図るため、関係者による検討会及び研修会を開催した。

表7-1 母子保健推進協議会

開催日時	参加者	内容
平成22年7月7日	浜田医療センター、済生会江津病院、浜田市医師会、江津市保育研究会所長部会、浜田市市立教育研究会養護部会、江津市教育研究会養護部会、浜田市民生児童委員協議会、江津市民生児童委員協議会、浜田市、江津市、浜田市子育て支援センター、江津市子育てサポートセンター、浜田教育事務所、浜田児童相談所、浜田保健所	報告・協議 1. 母子保健推進協議会の取組の経過について 2. 「浜田圏域健やか親子しまね計画」における各関係機関の取り組み 3. 浜田圏域母子保健推進協議会事業計画について 4. 情報提供 「浜田圏域における新型インフルエンザの状況について」

表7-2 母子保健従事者研修会（小児保健協会の研修に併せて実施）

開催日時	参加者	内容
平成22年12月7日	保育所・学校等関係者、医療機関関係者、市町村関係者、保健所職員、その他母子保健に係る関係者	・行政説明 ・講演「親の心に寄り添うために」 講師 島根県立大学 准教授 川中淳子 氏 ・意見発表「子育て機関での支援の実際」 ・体験講座「みんなで考える子育ての学びのススメ～子育ての中の親を支えるために～」 講師 島根県立西部社会教育研修センター 社会教育主事 佐田尾志おり 氏・島田謙一 氏

表7-3 母子保健担当者会

開催日時	参加者	内容
平成22年6月29日	管内市母子保健担当者、保健所職員	1. 情報提供 ・22年度母子保健事業について 2. 検討事項 ・乳児家庭全戸訪問事業について ・妊産婦保健指導連絡票について

表 8 - 1 低体重児の出生状況

(単位：人)

項 目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出 生 数	684	638	562	605	633
低体重児出生数	78	61	49	54	51
出 生 割 合	11.4	9.6	8.7	8.9	8.1

表 8 - 2 低出生体重児親子交流会の実施状況

	参 加 者	内 容
平成22年5月19日	2人 (1組)	自由遊び (子育て支援センター事業に参加)、個別相談・計測
平成22年9月15日	7人 (3組)	自己紹介、手遊び、読み聞かせ、手足形づくり・シール張り、自由遊び・交流、個別相談・計測
平成22年11月17日	4人 (2組)	自己紹介、手遊び、クリスマスツリーづくり、情報提供、自由遊び・交流、個別相談・計測
平成23年1月19日	4人 (2組)	自己紹介、読み聞かせ、折り紙、パズル、情報提供、自由遊び・交流、個別相談・計測
平成23年3月16日	6人 (3組)	自己紹介、手遊び、手作り絵本作成、情報提供、自由遊び・交流、計測

表 9 妊婦、乳幼児健康診査等の実施状況

項目	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	妊婦一般	受診票交付数	1,384	1,134	1,196	1,346
	延受診者数	1,180	1,603	1,154	1,244	1,094
	受診率 (%)	85.3	141.4	96.5	92.4	88.1
乳児一般	受診票交付数	1,346	1,164	1,196	1,242	1,242
	延受診者数	965	891	883	911	893
	受診率	71.7	76.5	73.4	73.3	71.9
1歳6カ月	該当児数	703	641	669	589	607
	受診者数	659	627	630	570	590
	受診率	93.7	97.8	95.4	96.8	97.2
3歳児	該当児数	725	707	597	669	665
	受診者数	675	672	585	639	640
	受診率	93.1	95.0	98.0	95.5	96.2

